

午 前

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午前の試験問題数は 56 問で，解答時間は 1 時間 35 分です。

社会福祉概論

問題 1 諸外国と我が国の社会福祉の歴史と発展に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 ドイツでは、19世紀のビスマルク（Bismarck, O.）宰相の時代に、世界に先駆けて介護保険制度を確立させ、その後この制度は、世界の国々に影響を及ぼしてきた。
- 2 デンマークでは、19世紀末よりリッチモンド（Richmond, M.）が社会福祉援助技術（ソーシャルワーク）の理論を発展させ、世界の国々に影響を及ぼしてきた。
- 3 アメリカでは、1935年に社会保障法が制定され、第二次世界大戦後には「ゆりかごから墓場まで」といわれる高度に発達した社会保障のモデルとなる福祉国家をつくり、今日に至っている。
- 4 イギリスでは、1942年のベヴァリッジ（Beveridge, W.）の作成した報告書を基礎とした福祉国家を、第二次世界大戦後につくりあげた。
- 5 我が国では、明治時代（1868～1912年）に救護法が制定され、国家責任に基づき、国民の保護請求権を確立し、社会保障の権利が保障された。

問題 2 現行の社会福祉関係各法に関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 社会福祉事業従事者の確保の促進については、社会福祉法に規定されている。
- 2 養護老人ホームへの入所の措置については、老人福祉法に規定されている。
- 3 自立支援医療費の支給については、身体障害者福祉法に規定されている。
- 4 子育て支援事業については、児童福祉法に規定されている。
- 5 母子家庭及び寡婦自立促進計画については、母子及び寡婦福祉法に規定されている。

問題 3 社会福祉の財政と費用負担に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「平成17年版厚生労働白書」によると、平成15年度から平成17年度の各年度の国の一般会計において、社会福祉費が社会保障関係費に占める割合は、3割を超えている。
- B 障害者の居宅介護については、障害者自立支援法により国の費用負担が義務づけられた。
- C 都道府県は、法律により義務づけられた負担のほかにも、介護保険事業に要する費用の一部を補助することができる。
- D 社会福祉法人が設置した保育所の保育サービスを利用した場合には、利用者は、原則として、保育費用を直接保育所に支払う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 4 社会福祉関連の資格制度等に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 社会福祉士は、社会福祉法に基づく資格であり、年齢20歳以上であって、人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意がある者であることが要件とされている。
- 2 精神保健福祉士は、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく資格であり、3年以上精神障害の診断又は治療に従事した経験を有することが要件とされている。
- 3 介護支援専門員は、老人福祉法に基づいて、福祉事務所の所員に対して技術的指導を行ったり、老人福祉の相談援助等で専門的技術を必要とする業務も行う。
- 4 保育士は、秘密保持が義務づけられており、これに違反した場合の罰則も規定されているが、保育士でなくなった後は秘密保持の義務は適用されない。
- 5 介護福祉士は、信用失墜行為が禁止されており、これに違反した場合は登録の取消し等の処分が行われることがある。

問題 5 社会福祉法に規定する福祉サービス等に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 地域住民，社会福祉を目的とする事業を営業者及び社会福祉に関する活動を行う者は，地域福祉の推進に努めなければならない。
- B 地域福祉の推進においては，公平性の観点から，どの地域においても，同一のサービスを提供しなければならない。
- C 社会福祉基礎構造改革により，福祉サービスの実施主体は，地方分権化及び民営化したので，社会福祉領域における国家の責任は消滅した。
- D 福祉サービスは個人の尊厳の保持を旨とし，利用者の自立を支援するものとして，良質かつ適切なものでなければならないとされている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 6 次の人物とその業績等に関する組み合わせのうち，正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A アダムズ (Addams, J.) ーハル・ハウス
- B パールマン (Perlman, H.) ー「4つのP」
- C ブース (Booth, W.) ートインビー・ホール
- D ランク (Rank, O.) ーヨーク地方の貧困調査

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 7 市町村における社会福祉の行政計画に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 地域福祉計画は、社会福祉法により策定されるものであり、地域における福祉サービスの適切な利用の促進等を定めることとされており、策定に当たっては住民等の参画を図ることとされている。
- B 老人福祉計画は、高齢社会対策基本法により策定が義務づけられており、市町村ごとの養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの必要入所定員総数その他老人福祉事業の量の目標などを定めることとされている。
- C 介護保険事業計画は、介護保険法により策定が義務づけられており、3年を一期として策定され、定められたサービスの種類ごとの量の見込みが保険料算定の基礎となる。
- D 保育計画は、次世代健全育成推進法により策定が義務づけられており、保育所利用待機児童の解消のための保育所の整備や放課後児童健全育成事業（学童保育）について定めることとされている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 8 社会福祉や社会保障の制度における利用者保護や苦情解決の制度に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 社会福祉法では、社会福祉事業経営者が利用者等からの苦情の適切な解決に当たることを義務づけており、利用者等が、直接運営適正化委員会に解決の申出を行うことはできない。
- B 障害者自立支援法では、市町村の介護給付費等に関する処分に不服があるときは、都道府県知事に審査請求を行うことができる。
- C 生活保護法では、福祉事務所による保護の決定及び実施に関する処分について不服があるときは、市町村長に審査請求を行うことができる。
- D 国民年金法では、支給決定について不服があるときは、市町村長に審査請求を行うことができる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

老人福祉論

問題 9 高齢者保健福祉に関連する法律を制定の順番に並べた次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 老人保健法—老人福祉法—介護保険法
- 2 老人福祉法—介護保険法—老人保健法
- 3 老人保健法—介護保険法—老人福祉法
- 4 老人福祉法—老人保健法—介護保険法
- 5 介護保険法—老人福祉法—老人保健法

問題 10 社会の高齢化に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

(注) ここでは、65歳以上人口がその国の総人口の7%に達した社会を「高齢化社会」、14%に達した社会を「高齢社会」とする。

- A アメリカは、1900年代後半に高齢社会になった。
- B スウェーデンは、1800年代後半に高齢化社会になった。
- C フランスは、高齢化社会から高齢社会になるのに100年以上かかった。
- D 日本は、高齢化社会から24年で高齢社会になった。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 11 「平成17年版高齢社会白書」(内閣府)による高齢者の健康に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

A 65歳以上の者のうち約6割が、健康について日ごろ心掛けていることの中で、「休養や睡眠を十分とる」といっている。

B 65歳以上の者(入院者を除く)のうち約6割が、過去1年間に健康診断等を受けている。

C 65歳以上の者(入院者を除く)のうち半数以上が、病気やけが等で自覚症状があると訴えている。

D 85歳以上の者(入院者を除く)のうち7割以上が、自覚症状から自分の健康状態が悪いことを意識している。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

問題 12 高齢者の健康、住宅、所得等の生活実態に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 「平成14年就業構造基本調査」(総務省)では、65歳以上の者が就業を希望する理由は、男女とも「健康を維持したい」が最も多い。
- B 「平成14年患者調査」では、65歳以上の者の受療率(高齢者人口10万人当たりの推計患者数の割合)は、入院及び外来とも平成11年調査と比べ減少している。
- C 「平成17年度高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」(内閣府)では、60歳以上の者が現在暮らしている住宅の構造で困っていることは、「住まいが古くなりいたんでいる」が最も多い。
- D 「平成16年国民生活基礎調査」では、高齢者世帯の所得を種類別にみると、「稼働所得」が最も多く、次いで「公的年金・恩給」、「財産所得」の順となっている。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 13 平成17年に改正された介護保険法で新たに規定されたことに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 介護サービス事業者は、要介護者・要支援者の人格を尊重するとともに、要介護者・要支援者のために忠実にその職務を遂行しなければならない。
- 2 介護支援専門員証の有効期間は10年で、申請により更新する。
- 3 介護サービス事業者は、介護サービス情報を都道府県知事に報告しなければならない。
- 4 指定居宅サービス事業者の指定は、6年ごとにその更新を受けなければ、その効力が失われることとされている。
- 5 地域包括支援センターは、要介護認定の申請手続きの代行ができる。

問題 14 次の事業所等のうち、介護支援専門員を置くべきものとして、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 指定通所介護事業所
- B 指定小規模多機能型居宅介護事業所
- C 指定特定施設
- D 指定介護療養型医療施設

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問題 15 介護保険制度における地域密着型サービスに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 夜間対応型訪問介護では、夜間の定期的な巡回訪問、又は通報を受けて、介護等を行う。
- 2 小規模多機能型居宅介護では、居宅において、又はサービスの拠点に通わせ若しくは短期間宿泊をさせ、介護等及び機能訓練を行う。
- 3 地域密着型認知症対応型共同生活介護では、原則として、当該事業者を指定した市町村の区域に住所を有するものに限って入居できる。
- 4 地域密着型特定施設入居者生活介護の指定を受けることができる施設は、介護専用型特定施設のうち、その入居定員が29名以下のものである。
- 5 指定認知症対応型通所介護の従業者のうち、生活相談員、看護職員及び介護職員は常勤とする。

問題 16 地域福祉権利擁護事業における「福祉サービス利用援助事業」に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 実施主体は、都道府県社会福祉協議会又は指定都市社会福祉協議会である。
- B 事業の対象者は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者などのうち判断能力が不十分で、契約締結能力を喪失した者である。
- C 利用希望者の判断能力及び契約締結能力に疑義がある場合、運営適正化委員会が審査する。
- D 援助内容に、「日常的金銭管理」がある。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 17 老人保健法に規定する医療等以外の保健事業の種類に該当しないものを一つ選びなさい。

- 1 健康手帳の交付
- 2 健康相談
- 3 移送費の支給
- 4 機能訓練
- 5 訪問指導

問題 18 「高齢者虐待防止法」に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 高齢者虐待の定義には、放置を除く身体的、心理的、性的及び経済的虐待に関する内容が明記されている。
- B 養護者による虐待を受けたと思われる高齢者を発見した者は、高齢者の生命又は身体に重大な危険が生じている場合、速やかに市町村に通報しなければならない。
- C 市町村長は、立入調査に当たって必要がある場合、当該高齢者の住所又は居所の所在地を管轄する警察署長に対し援助を求めることができる。
- D 国民は、高齢者虐待の防止、養護者に対する支援のための施策に協力することが求められる。

(注) 「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	○	○
5	×	×	×	○

障害者福祉論

問題 19 障害者自立支援法第1条（目的）の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

「この法律は、「A」の基本的理念にのっとり、「B」、知的障害者福祉法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、児童福祉法その他障害者及び障害児の福祉に関する法律と相まって、障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスに係る給付その他の支援を行い、もって障害者及び障害児の福祉の増進を図るとともに、障害の有無にかかわらず国民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる「C」の実現に寄与することを目的とする。」

- | | A | B | C |
|---|----------|----------|------|
| 1 | 障害者基本法 | 身体障害者福祉法 | 国家 |
| 2 | 社会福祉法 | 障害者基本法 | 地域社会 |
| 3 | 社会福祉法 | 身体障害者福祉法 | 国家 |
| 4 | 障害者の権利宣言 | 障害者基本法 | 国家 |
| 5 | 障害者基本法 | 身体障害者福祉法 | 地域社会 |

問題 20 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 障害者自立支援法における障害程度区分は、区分1から区分6までの6区分である。
- B 児童福祉法に規定する重症心身障害児施設は、満18歳以上の者が在所することはできない。
- C 身体障害者補助犬法における身体障害者補助犬とは、盲導犬、介助犬及び聴導犬をいう。
- D 障害基礎年金の障害等級には、1級と2級がある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 21 「身体障害者障害程度等級表」における1級に該当する障害についての記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 両上肢の機能を全廃したもの
- B 両耳の聴力レベルがそれぞれ100デシベル以上のもの（両耳全ろう）
- C 両下肢を大腿の2分の1以上で欠くもの
- D 音声機能、言語機能又はそしゃく機能の喪失

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 C D

問題 22 次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 我が国においては、精神障害者の当事者団体は設立されていない。
- B 『この子らを世の光に—近江学園二十年の願い—』を執筆したのは糸賀一雄である。
- C 障害者の自立生活運動は、介助なしで生活することを目標としている。
- D 国連では、障害者権利条約の採択に向けた検討が重ねられ、2006年8月には特別委員会で条約案が合意された。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

リハビリテーション論

問題 23 介護保険法第4条（国民の努力及び義務）の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

「国民は、自ら要介護状態となることを予防するため、加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に「A」に努めるとともに、要介護状態となった場合においても、進んで「B」その他の適切な保健医療サービス及び福祉サービスを利用することにより、その有する「C」に努めるものとする。」

- | | A | B | C |
|---|-----------|-----------|----------|
| 1 | 健康の保持増進 | リハビリテーション | 体力の維持向上 |
| 2 | リハビリテーション | 介護保険サービス | 能力の維持向上 |
| 3 | 体力の維持向上 | 介護予防サービス | 生活力の維持向上 |
| 4 | 健康の保持増進 | リハビリテーション | 能力の維持向上 |
| 5 | 体力の維持向上 | 介護保険サービス | 生活力の維持向上 |

問題 24 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 脳卒中のリハビリテーションにおいては、脳の循環状態が安定したところで、早期に座位の練習を始め、起立性低血圧を予防する。
- B 脳卒中後遺症のある人の嚥下障害の訓練は、口腔衛生に注意して行う。
- C 交互昇降のできない片麻痺のある人が階段を降りるときは、麻痺側下肢から一段降りし、次に健側下肢を同じ段に降ろす。
- D 運動を、患者自身の筋力で動かす自動運動と、患者以外の力による他動運動に大別すると、筋力強化には他動運動が有効である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 25 災害時の避難所における高齢者への対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 避難所生活が長期になる場合は、廃用症候群の発生予防に努める。
- B シルバーカー（高齢者用歩行補助車）を使用していた人にも、なるべく車いすを使っ
てもらおうようにする。
- C 疲労防止のために、日中も臥床してもらおうようにする。
- D 歩きやすいように、通路を確保する。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 26 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組
み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 回復期リハビリテーション病棟は、脳卒中等の患者に対して自宅復帰を目的とし、集
中のリハビリテーションを提供する。
- B 世界保健機関（WHO）による国際生活機能分類（ICF）は、疾病と機能障害、能
力低下の結果として「社会的不利」が生じるというモデルである。
- C 介護保険法では、通所リハビリテーションは施設サービス、訪問リハビリテーション
は居宅サービスと規定している。
- D リハビリテーションは、利用者の生活機能に関する目標とその実現のための計画を設
定して行われるべきものである。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | × | × |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題 27 高齢者虐待への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 主治医との連携，ショートステイの利用などの緊急対応体制をあらかじめ整えておく。
- B 高齢者は，虐待されていても，そのことをあきらめたり我慢していることがある。
- C 被害高齢者の利益を守るために，加害者である家族への支援を控える。
- D 高齢者虐待の有無に関連があるものとして，家族介護者と高齢者との人間関係が挙げられる。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 28 面接相談の原則に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 利用者が沈黙した場合は，すぐに話題を転換する。
- B 閉じた質問を使うと，利用者は，自らの考えや気持ちを具体的に述べることができる。
- C 利用者の発言内容のほかに，声の調子，表情，視線，身体の動き等を観察する。
- D 面接者は，自分の価値観や倫理観を押し付けないようにする。

（組み合わせ）

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 29 グループワークの実施に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 援助者は、性別、年齢、疾病、障害、日常生活動作（ADL）、人間関係等の参加者の特性を考慮する。
- B 援助者は、参加者の人数、開催時間、回数、期間等について計画を立てる。
- C 援助者は、あらかじめ参加者の役割を決めて提示する。
- D 援助者は、参加者個人とグループ全体を対象に、観察と支援を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問題 30 ケースカンファレンスに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 援助目標や方針を共有する。
- B 援助活動を追体験し、共感的な理解を深める。
- C 援助技術を向上させるための方策を導き出す。
- D アセスメントは援助活動が終結してから行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 31 ボランティアコーディネーターの役割に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ボランティア希望者には、登録をする前に、利用者と直接接触しニーズを把握してもらおう。
- B ボランティアの受け入れについて、事前に利用者に説明し了解を得る。
- C ボランティアには、守秘義務について理解してもらおう。
- D ボランティアには、活動中の事故等に備え、ボランティア保険に加入することをすすめる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	○
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	○	×	×

(社会福祉援助技術 (演習を含む。)・事例問題)

次の事例を読んで、問題32から問題34までについて答えなさい。

〔事例〕

Sさん(85歳、男性)は、3年前に脳梗塞を発症し、その後遺症として右片麻痺があり、車いすで移動をしている。食事は時間がかかるが何とか一人で食べている。

しかし、排泄や入浴には介助が必要である。今までは自宅で妻(82歳)と二人暮らしであり、妻が身の回りの世話をしていたが、妻も1か月前に脳梗塞で倒れて病院に入院した。

妻は倒れたときから意識障害があり、大きな声のする方に視線が動く程度で、発語することはない。子どもは二人いるがどちらも遠方に住んでいて、Sさんの世話ができる状態ではない。家庭での生活は継続困難となったため、妻の入院後、介護老人保健施設に入所した。

Sさんは、施設での生活になかなか慣れず、他の利用者と会話をすることもなく、自室のベッドに横になり、ぼんやりと窓の外を眺めていることが多い。Sさんに声をかけると、「病院に面会に行きたい。自分も妻と同じ病院に入院し、妻の世話を少しでもしてやりたい。そして早く自宅に戻って今までどおりの生活をしたい」と強く訴えている。

問題 32 Sさんへの援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

- A Sさんとの会話の中で、妻が行っていた身体介護の仕方などを話題にする。
- B 散歩に誘うなどして、信頼関係の形成に努める。
- C Sさんがぼんやりとしているのは、脳梗塞の病状悪化であると判断し、二人の子どもに伝える。
- D Sさんの身体的苦痛だけでなく、精神的苦痛や願いについても理解するよう努める。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 33 Sさんの訴えへの対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Sさんの話をじっくり聞き、思いを受け止める。
- B 妻との面会の段取りについてケースカンファレンスで話し合う。
- C Sさんの言動への直接的対応だけでなく、施設における生活全体の支援のあり方を考える。
- D Sさんに「訴えるだけでなく、現状を分かってほしい」と頼む。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

問題 34 Sさんの今後の方針づくりのための、ケースカンファレンス開催にあたり考慮すべきことに関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A Sさんと子どもたちに出席してもらい希望や意見を述べる機会をつくる。
- B 妻の入院生活の様子についての情報を、病院から入手する。
- C Sさんと妻が住み慣れた環境で生活できるように、自宅の浴室やトイレの改修を依頼する。
- D Sさんのリハビリテーション計画についての提案を、理学療法士に求める。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	○	○

レクリエーション活動援助法

問題 35 次の文章は、老人福祉法第13条の一部である。空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

「地方公共団体は、老人の心身の「A」に資するための「B」、レクリエーションその他広く老人が自主的かつ「C」に参加することができる事業を実施するように努めなければならない。」

- | | A | B | C |
|---|-------|------|-----|
| 1 | 健康の保持 | スポーツ | 継続的 |
| 2 | 介護の予防 | 教養講座 | 継続的 |
| 3 | 健康の保持 | スポーツ | 積極的 |
| 4 | 健康の保持 | 教養講座 | 積極的 |
| 5 | 介護の予防 | スポーツ | 積極的 |

問題 36 レクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A レクリエーション活動援助とは、余暇活動に特化したものをいう。
- B 利用者同士の交流によって、集団の成長とともに、個人の成長を図る。
- C レクリエーション計画は、毎週のグループ活動、さらには毎月の行事や毎年の大きな行事等を盛り込んで総合的に作成する。
- D 障害者の家族の会などセルフヘルプグループにおいても、グループレクリエーション活動の視点は重要である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 37 レクリエーション活動援助者の役割に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 介護保険法に基づく訪問介護において、高齢者の心身の活性化を目的とし、プロ野球観戦に連れて行くことを試みる。
- B 介護保険法に基づく通所介護において、過去の経験や遊びなども配慮し、利用者にとって取り組みやすいプログラムの導入を試みる。
- C 障害者自立支援法に基づく障害者支援施設において、地域における利用者の社会参加を念頭に、利用者にもできるボランティア活動の推進を試みる。
- D 障害者自立支援法に基づく市町村地域生活支援事業において、体力増強を目的とした、障害者スポーツ大会の開催を試みる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

次の事例は、介護老人福祉施設におけるレクリエーション活動援助の場面である。
事例を読んで、問題38から問題40までについて答えなさい。

〔事例〕

Aさん(80歳、女性、元教師)は2年前に脳梗塞を起こしたことにより、認知症と右片麻痺が見られ、利き手だった右手は動かないが、杖をついての歩行は可能である。認知症の程度や理解力の低下が進んできたので、1か月前に介護老人福祉施設に入所した。Aさんは、施設生活になかなかなじめず、また生活にも張りがなく、終日ベッド上での生活を送っている。俳句、菓子作り、散歩の趣味があるなどというアセスメントに基づき、レクリエーション担当の職員は、Aさんが少しでも早く施設の生活に慣れ、QOL(生活の質)を高めるためにレクリエーションプログラムの立案を開始した。

問題 38 Aさんのレクリエーション活動援助の計画に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 趣味を生かして俳句を作ってもらえるように、多くの題材を提示する。
- B 活動は1回ごとに時間や場所を変えるよう工夫する。
- C 脳梗塞の再発防止などのため、安全な運動強度について医師に確認する。
- D 昔の話をゆっくりしながら、過去の生活の記憶をたどってもらうことを試みる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 39 Aさんに対する菓子作りのレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 補助具を用いて、左手だけで道具が使えるように工夫した。
- B 右手が動かないので、菓子を作るより食べることをすすめた。
- C まずは得意な菓子の中から簡単にできるものを一緒に選んで作った。
- D 菓子作りの楽しさを思い出してもらうために、作り方を教えてもらうという態度を織り交ぜつつ援助した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 40 Aさんの日常生活におけるレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 部屋を訪れる利用者を毎日変えるなど、多くの人との交流ができる機会を増やした。
- B びっくりさせて喜んでももらうために、これまで作った俳句を、Aさんに内緒で廊下に張り出した。
- C 離床のため、安全性の確認などの見守りを行いつつ、施設内を散歩するように促した。
- D 施設内のクラブ活動を見学するなど、部屋の外に出るように促した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

老人・障害者の心理

問題 41 発達における遺伝と環境の影響に関する次の記述のうち、正しいものに○，誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 生得説とは、個人の発達過程を、個人のなかに潜在している可能性が、出生以後、時間の経過とともに顕現するという考えである。
- B 経験説とは、遺伝の影響は最小限にとらえ、個人の発達過程は、育つ環境から得られる経験によって、かなりの部分が規定されるという考えである。
- C 輻輳説とは、独立した遺伝的要因と環境的要因が、それぞれ寄り集まって、一つの発達として現れるという考えである。
- D 相互作用説では、初期経験ないし初期環境が果たす役割を重視しており、個人の発達過程において決定的な影響を与えるという考えである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 42 中途身体障害者の障害受容に関する次の記述のうち、適切なものに○，適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 重度障害者は、軽度障害者より引きこもりになりがちで、障害受容が困難である。
- B 機能回復訓練が実施されることによって、後戻りすることなく障害の受容が達成される。
- C 受傷後長い期間を経た人であっても、ピアカウンセリングは有効である。
- D 「価値転換」について、ライト (Wright, B.) は自身の失われた機能や技術を悩むより、残存機能や現状での可能性を高める必要性を示唆している。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 43 QOL（生活の質）の向上に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A QOLは生活環境の改善を目指すものなので、介護従事者にとって、重要な理念ではない。
- B 高齢者が、趣味やサークル活動などを積極的に行い、孤独、不安を克服することはQOLの向上につながる。
- C 住宅改造により安全性が向上したとしても、本人の満足感の増進につながらないことがある。
- D 安易な福祉用具の使用は、自立を阻害しQOLの向上につながらないことがある。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 44 心理・知能検査に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ロールシャッハテストは、インクの染みをテスト図版とした検査であり、検査の対象者の年齢を限定していない。
- B バウムテストは、テスト図版に対するイメージ内容を分析し、被験者の人格を理解しようとする検査である。
- C ベントン視覚記銘検査は、視覚認知能力や視覚運動能力を分析する検査であり、言語を用いないため、失語症がある人にも使用できる。
- D 改訂長谷川式簡易知能評価スケールは、認知症のスクリーニングに使用される検査の一つである。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 45 高齢者への対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 老年期の身体的・心理的变化は、一人一人の高齢者において違いがあるため、個人差に配慮した対応が必要である。
- B 盆栽や野菜作り等を仲間と一緒に行うことで、心身両面の活性化が期待される。
- C 認知症高齢者に対して行われる身体拘束は、認知機能を改善する上で効果的な対応である。
- D 日常生活の中で、光や音、においや手触りなどの五感を適切に刺激するような環境は、認知症高齢者の行動の安定化が期待される。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 46 高齢者の精神障害に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A うつ状態の対応においては、慢性疾患などの身体症状にも留意する必要がある。
- B せん妄は、幼少期の体験が背景にあるので、効果的に対応するためには生活歴の聞き取りが必要である。
- C 神経症の発症においては、環境的要素や心理的要素の影響は少ない。
- D ピック病は、不安を生じるような心理的問題やストレスが主な原因であり、原因の除去により対応することが可能である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | × |
| 2 | ○ | × | ○ | × |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 47 動作法に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 動作法は、動作課題に集中することにより、とらわれていた心の問題を脇において、結果として自分を客観視できる技法である。
- B 動作法では、ゆっくり肩を上げ下げするなどの動作課題を行っていくプロセスに、その人の心の状態などが現れると考えられている。
- C 援助者は、被援助者が体を動かしたり緩めたりする時に、できるだけ積極的に力を加えるように心掛ける。
- D ストレスを抱えていて体が硬くなっている場合、動作法を実施することはできない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	×	○

問題 48 注意欠陥・多動性障害（AD/HD）の子どもへの対応に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 厳しく注意し、叱責することは、行為障害の出現を防止する。
- B 言語によるコミュニケーションは困難であり、図（絵）が主たるコミュニケーション手段となる。
- C 会話やゲームをしているときに、しばしば他人を妨害したり、邪魔をしたりすることがある。
- D 重度の知的障害があるので、分かりやすい説明・指導を行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	×

家政学概論

問題 49 次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 結婚を契機として自らがつくり出していく家族を、創設家族という。
- B 家事労働の特色の一つとして、無償性を挙げることができる。
- C 「ひとり親と未婚の子のみ」で構成する世帯は、「国民生活基礎調査」の世帯構造分類における核家族世帯の一つである。
- D 平成16年の年金制度改正で、専業主婦である妻が離婚した場合、夫の年金を妻に分割することができなくなった。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | × | ○ | ○ |
| 3 | ○ | × | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ | × |
| 5 | × | ○ | × | ○ |

問題 50 クーリング・オフ制度に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 電話勧誘により消費者が商品購入契約をしたときには適用されない。
- B 一定の要件を満たせば、消費者が自らの意思で店舗に行って購入契約した場合でも、クーリング・オフできる。
- C 訪問販売に対して適用されるのは、法定の契約書面を受領した日から8日間である。
- D クーリング・オフの手続きは、内容証明郵便による方法が確実である。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | × | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | × | ○ | ○ | ○ |
| 4 | × | × | ○ | × |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 51 加工食品の期限表示に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 市販の加工食品には、必ず消費期限と賞味期限の両方が表示される。
- B 消費期限は、惣菜や調理パンなど、定められた方法で保存した場合において、製造日を含めて概ね5日以内に品質が劣化する食品に表示される。
- C 賞味期限とは、定められた方法で保存した場合に、品質が保持できると認められる期限である。
- D 賞味期限は、消費期限に比べ、劣化しにくい食品に表示される。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | × | × | ○ |

問題 52 じゃがいもの調理に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 切断面が空気に触れると褐変するので、防止のためには切つてすぐに水につける。
- B マッシュポテトを作るときには、ゆでたじゃがいもを冷ましてから裏ごしをする。
- C メーカーインは男爵いもより煮崩れしにくい。
- D 発芽部分や緑色の皮の部分には、有毒物質ソラニンが含まれているので、取り除く。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | × | ○ | ○ |
| 2 | ○ | × | × | ○ |
| 3 | ○ | × | × | × |
| 4 | × | ○ | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | ○ | × |

問題 53 ビタミンB1に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 多く含む食品として、りんごが挙げられる。
- 2 主としてカルシウムの代謝に関与する。
- 3 不足すると壊血病になる。
- 4 過剰に摂取すると紫斑病になる。
- 5 水溶性である。

問題 54 布地に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 平織は、摩擦に強く丈夫で幅広く利用されている。ガーゼや羽二重はその例である。
- B 斜文織（綾織）は、摩擦に弱く布の強度も低い。サテンやドスキンはその例である。
- C 不織布は、繊維を膜状に広げ固定化したもので裁ち目がほつれにくい。芯地やフィルターはその例である。
- D 編物は、織物に比べると伸縮性、保湿性、通気性に富む。セーターや靴下はその例である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	○	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	×	○

問題 55 家庭用品品質表示法に基づく「住宅用又は家具用の洗浄剤」の表示事項として、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 品名は、「浴室用洗浄剤」、「カビ取り用洗浄剤」、「換気扇・レンジ用洗浄剤」のように、その用途を適切に表現した用語で表示される。
- B 成分は、大きく分けて界面活性剤、洗浄補助剤及びその他の添加剤、酸又はアルカリ、酸化剤の4つに分類される。
- C 種類は、油性、乳化性、水性、水性（樹脂系）の4つの分類で表示される。
- D 塩素ガス発生試験で、規定以上のガスを発生する洗浄剤には、「まぜるな 危険」等の特別注意事項が表示される。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	○
3	○	×	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 56 電磁調理器に関する次の記述のうち、正しいものに○、誤っているものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 電磁誘導により、鍋底に発生した熱が食品に伝わることによって加熱される。
- B 使用できる鍋の材質が限られており、鉄製の鍋は使用できない。
- C ガスコンロに比較して、発熱や引火に対する安全性が高い。
- D ガスコンロや電気コンロに比較して、熱効率が低い。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	○	○
2	○	×	×	×
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○